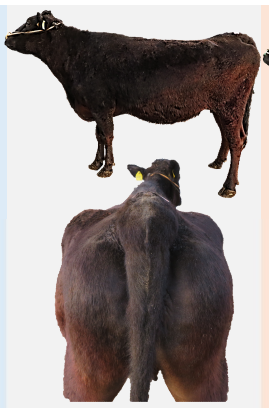
岡山和牛繁殖牛飼育マニュアル

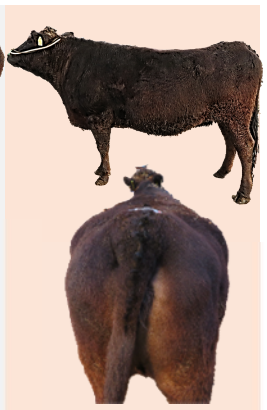
令和４年３月

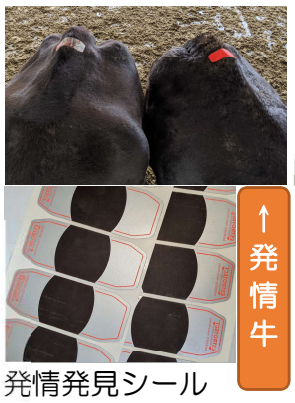
成　　牛

栄養度は過肥にならないように注意　受胎率の低下や分娩事故につながる
発情発見ｼｰﾙなどを活用し見逃し防止、分娩監視装置やﾈｯﾄﾜｰｸｶﾒﾗなどを活用し労働の負担を低減、ただし機械に頼りすぎない
自給飼料をしっかり活用しコスト低減（下のメニューは一例、参考にして飼料代を計算し自分の給与体系をつくる）

痩せ気味


適　正

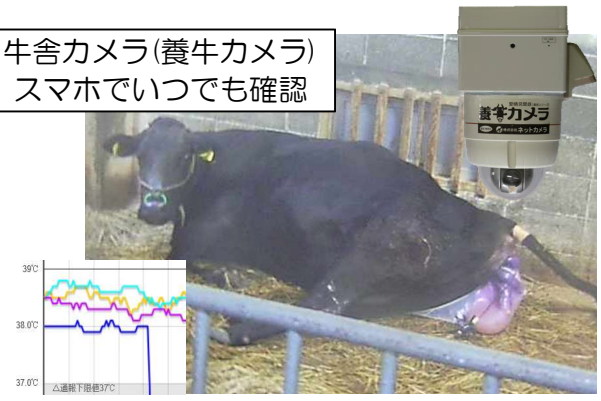

太り気味


発情発見シール

↑発情牛

分娩監視装置(牛温恵)
分娩１日前に通知

牛舎カメラ(養牛カメラ)
スマホでいつでも確認


１次破水でもスマホに通知

給与メニュー例		維持期	胎児が大きくなる時期			分娩	子牛を乳で大きくする時期		維持期
		～2カ月	２ヵ月前	１ヵ月前	１４日前		１ヵ月	２～3ヵ月	3ヵ月～
給与例1	繁殖用飼料(連産きらきら)	1kg	1.5～2kg	2kg	3～3.5kg		3～3.5kg	2.5～2kg	1kg
	乾草（スーダン）	5～6	5～6	5～6	5～6		6.5	6.5	5～6
	ヘイキューブ		0.5	0.5	0.5		0.5	0.5	
給与例2	繁殖用飼料(連産きらきら)	0.5	1.0～1.5	1.5	2.5～3		2.5～3	2～1.5	0.5
	自給ｻｲﾚｰｼﾞ（ｲﾀﾘｱﾝ,ｽｰﾀﾞﾝ）	4.5～6	4.5～6	4.5～6	4.5～6		6	6	4.5～6
	稲WCS	6	6	6	6		6	6	6
	ヘイキューブ		0.5	0.5	0.5		0.5	0.5	
【ポイント】 ・母牛は10歳(８産)が更新目安 ・繁殖記録をつける(牛毎の癖) ・固形塩、運動、削蹄、日光浴を ・超早期母子分離後は維持期の飼料を給与 ・分娩前後はﾋﾞﾀﾐﾝ･ﾐﾈﾗﾙ剤を補給		自給飼料をしっかり活用 自給飼料もコストに入れる	牛下痢５種混合ﾜｸﾁﾝ(初産１回目)	牛下痢５種混合ﾜｸﾁﾝ(初産２回目,経産) コクシジウム及び寄生虫の駆除	分娩房へ移動 胎位を確認 牛温恵装着 (昼間分娩誘起法※)		母牛の体重は減らさない 10日目以降制限哺乳 初回発情 ←→ 受胎	子牛が人工乳を2.3kg食べるようになったら離乳(90日齢までに離乳)	受胎確認後、発情していないか (流産の見逃し)
		・３～４月 異常産４種ワクチン 毎年１回（初めて注射する時は１カ月間隔で２回接種）　放牧する場合、クロストリジウム・ボツリヌスのワクチンも接種 ・初乳は６時間以内に、ただし哺乳意欲の弱い子牛に強制的な給与はダメ、初産,2産目は生後すぐに初乳製剤(「さいしょのミルク」）を給与 ※分娩予定日の14日前から夕方に1日分の飼料を給与、翌朝に残餌を撤去、日中は水だけで餌を与えず休息させ、昼間分娩の確率を高める								

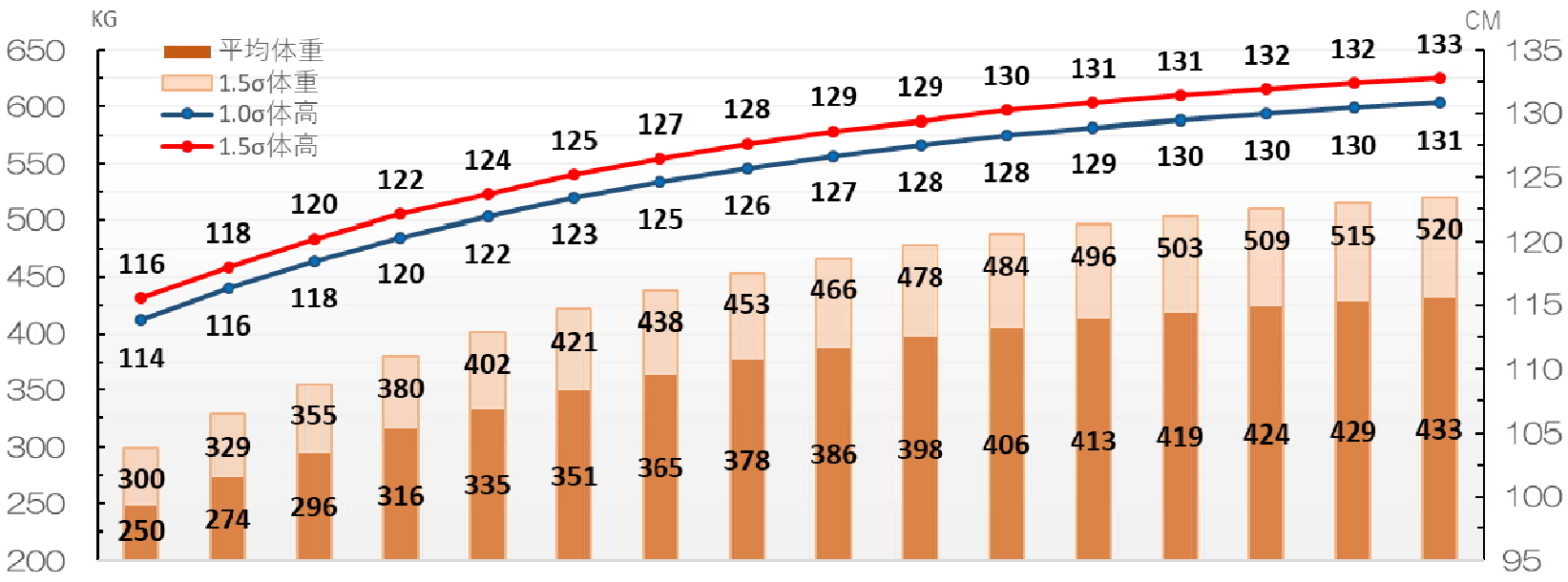
育 成 牛

配合飼料の切り替えは10日ほどかけてゆっくりと。自給飼料が低質な場合は良質乾草の割合を増やし、しっかり草を食い込ます。
種付けまでは大豆粕(できればソイパスがよい)を給与し発育を促す。体高が118cmを超えていれば13～14カ月齢で種付
近親交配が進むと受胎率が悪くなる傾向にある。保留する牛は血統を見つつ近交係数に注意

ポイント

・朝と夕方に15分間発情観察
　陰部発赤,腫脹,粘液,乗合(発情発見シールを活用)
・13カ月齢に達しても初回発情が確認できなければ獣医師に相談
・受胎していても弱い発情兆候を示す牛がいる
・9カ月齢までに発育(体高)が小さいものは繁殖雌牛として残さない

☆大豆粕は計量する
過剰は繁殖性に悪影響



月　　齢		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
給与例1	育成用飼料(パワフルFP)	1.8																分娩1カ月前から成牛の飼い方へ
	繁殖用飼料(連産きらきら)	1.8	2.5	2	2		2											
	粗剛な乾草(スーダン)	1	2	2	2		3											
	繊維源の多い乾草(ﾌｪｽｸ等)		0.5	2	3		3											
	良質乾草(チモシー)	3	2.5	1	1		-											
	大豆粕(ソイパス)	0.3	0.3	0.3	0.3		-											
給与例2	育成用飼料(パワフルFP)	1.8																
	繁殖用飼料(連産きらきら)	1.8	2.5	2	2		2											
	粗剛な乾草(スーダン)	1	2	2	2		3											
	自給飼料(ｲﾀﾘｱﾝ,ｽｰﾀﾞﾝ等)		1	2～3	3～4		3～4											
	良質乾草(チモシー)	3	2.5	1	1		1											
	大豆粕(ソイパス)	0.3	0.3	0.3	0.3		-											

JAグループ(農協・全農岡山県本部・JA西日本くみあい飼料(株))・(一社)岡山県畜産協会　畜産研究所監修